

はかり(電子天秤)の校正



一般財団法人

日本建築総合試験所

はかり(電子天秤)は標準器(標準分銅)を用いて校正することによって
国家計量標準へのトレーサビリティを確保することができます。

はかり(電子天秤)とは

はかり(電子天秤)とは、物体に作用する重力を利用して物体の質量を測定するために使用される測定機のことです。自動はかりと非自動はかりに分類されます。非自動はかりのうち、ロードセル又は電磁抵抗センサ等を用いた比較的高精度な計測ができる天秤を電子天秤といいます。

はかり(電子天秤)の校正

・校正条件

校正は、次の環境条件で行います。

温度; 5°C~35°C

湿度; 25%~85%

気圧; 900hPa~1035hPa

・標準器

標準分銅(OIML型, 枕型)

・校正方法

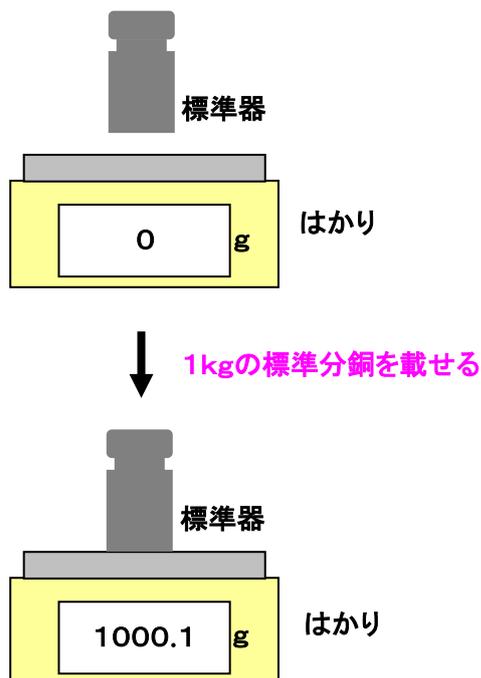
標準器をはかり(電子天秤)の秤量皿に載せ、そのときのはかり(電子天秤)の指示値を読み取り、差を確認します。

・校正結果

偏差を計算します。

偏差 : $1000.1 - 1000.0 = +0.1$

右図では、0.1g大きな値を示すはかりであることがわかります。



はかり(電子天秤)の校正の状況

【関連規格】

・JIS B 7611-1「非自動はかり—性能要件及び試験方法—
第1部:一般計量器」